



9月園だより

令和7年9月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

この夏も存分に、水遊びやプール遊びを楽しみました。テラスでは乳児クラスが、たらいの水に加えて、色水や氷、絵具などの素材に触れました。キューピー人形をお風呂に入れたり、ジュースを飲ませたり、お世話遊びにも発展しています。

先日は、保育士が置いたウォータージャグから一粒ずつ落ちるしずくを真剣に見つめながら小さなじょうろに根気よく集める姿が、保育日誌に記載されていました。大胆な水遊びに加え、小さな事象や変化にも心をとめて遊ぶ姿がとても微笑ましく、うれしい場面でした。

幼児クラスでもプール遊びは、ますます発展し、水中でんぐり返しや逆立ちまで挑戦しています。そんな中で、5歳児クラスの子どもたちは、それぞれが独自の浮き方や泳ぎ方を工夫して楽しみ、その写真を廊下の大きな紙に次々と貼っていきました。はじめは海に見立てて折り紙の魚等を貼っていたのですが、そこに写真によって自分たちの実体験が可視化されていくことで、楽しさが増していくようでした。子どもたちを一回り遅しくしてくれた夏でした。

暑さは続くようです。数日間ですが水遊び、プール遊び共に延長して楽しみたいと思っております。



「ピーマン、美味しいね」～食育活動～（2歳児クラス）

保育室前のテラスでナスとピーマンを育てています。保育士と一緒に水やりしながら「ちょっと大きくなったね」「ナスのお花が咲いたね」と大きくなることを日々楽しみにしていました。野菜が大きく実り、一人ずつ好きな実を選んで保育士と一緒に収穫しました。ピーマンは一度になんと34個も獲れましたよ。沢山獲れたピーマンを見て、子どもたちも「いっぱいとれた」と嬉しそうでした。収穫した野菜は、栄養士に目の前で炒めてもらうと「じゅーじゅーって言うてる」「いいにおい」と感じたことを呟きながら雰囲気も味わっていました。醤油とみりんで味付けされた出来立てのピーマン炒めが給食のおかず皿に添えられると、勢いよくスプーンですくい、口に運んで「おいしーい」と笑顔を浮かべながら味わっていました。普段ピーマンを残しがちな子も、友達が食べる様子を見て「食べるから見てね」と一口食べて得意気ににっこり。山盛りのピーマン炒めはあっという間に子どもたちが食べきりました。小さな苗に水やりをして育て、収穫し食べるまでの過程を友達や保育士と一緒に経験したことは、食べる意欲にもつながったようです。普段はあまり進まない野菜も食育活動をきっかけに自分から食べてみようとする姿が見られました。



行事予定

引き渡し訓練

避難訓練・身体計測

運動会

2歳児クラス～5歳児クラス
(0歳児、1歳児クラスは自由参加です)

詳細は後日お知らせします。



～プール遊びの様子 3・4・5歳児クラス～



始めは少し緊張する姿もありましたが、毎日のプール活動でたくさん泳げるようになりました。



3歳 りす組 〈水のかけ合いから“プール”遊びへ〉

幼児クラスになり初めてのプールあそび、始めの頃は花の水やりごっこや消防車ごっこ等の水をかけ合う楽しい遊びを取り入れてたくさん楽しみました。水に慣れてくると、ワニ泳ぎ、ラッコ泳ぎ、イルカ泳ぎ等も楽しめるようになりました。保育士の背中に乗って親子ワニになったり、友達と「せーの」で一緒に顔を水につけて「できた」「すごいね」と言い合ったりしていました。楽しんでいく中で少しずつ自信がつき「見ててね」と自分からやってみようとする姿が増えていった子どもたちです。

4歳 うさぎ組 〈もぐる〉

いつもより水位が高いプールに入った時に、底に沈んだ小さな玩具を潜って取る宝探しゲームをしました。水深が深いことと、子どもたちの身体が軽いことでなかなか宝に手が届きません。それでも、子どもたちにとってはちょっと難しいことが面白いようで、笑顔で何度もチャレンジしていました。潜る前には深く息を吸い込み、“よし”と勇気を出している様子が伝わってきます。その後、宝を手にした嬉しそうな表情と、勇気を持って取り組む姿に成長を感じました。



5歳 きりん組 〈どうしたら浮かべるか〉

“泳いだり潜ったり”をたくさん楽しみ、その中で、全身の力を抜いて仰向けに浮かんでみることに挑戦しました。水の中では体に入っていると沈むということにも気がついた子どもたちです。試行錯誤しながら自分で浮かぶことができるようになると、今度はビート板やペットボトルも使って自由に“浮かぶ”ことを試していました。遊びながら様々なことを試し、体のコントロールの仕方や、バランスの取り方等も学んだ夏になりました。



8月後半、ダイナミックに泳ぐ姿も見られました